

しーめいる里

令和3年

1月号

社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会 障がい者支援施設 福岡ひまわりの里
819-0012 福岡市西区能古1601-39 TEL : 883-2689 FAX : 883-2690
E-mail : sato@fiku.jp 施設長 : 石井 美紀



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって良い年でありますよう新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともにご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

無事に新年を迎えることができますのも、利用者、保護者、地域及び関係機関の皆様の多大なるご支援、ご協力があったことと深く感謝申し上げます。

昨年は「当たり前前の日常」が当たり前でなくなってしまう、今まで普通にしてきたことができなくなるといった想像もしていない一年になってしまいました。密を避けた生活、フィジカル・ディスタンスを意識した生活は、私たちにも、利用者にとっても「我慢」な生活でした。今思えば、利用者が一番衝撃を受けたのは、博多どんたくの中止が発表された時だったように思います。毎年行われているどんたくが中止というニュースは、なんとなくなつただ事ではないと感じていたものが、ただ事ではないと身近に感じたできごとだったからではないでしょうか。

福岡ひまわりの里の行事も次々になくなり、特に地域の皆様と一緒に言う夏祭りの中止はさびしいものでした。しかし職員たちは、利用者と一緒に楽しいことをしたいと、地域の皆様や保護者・来客の皆様とはふれあうことが難しい状況でも、里の中でイベントをやろうと、行事に因んだ企画を考え利用者と一緒に準備を行い、当日は利用者と一緒に職員も楽しみました。

感染リスクを抑えるため、外出や外食を控え、館内消毒を徹底しても不安は拭えない日々が続きます。まだまだ、不安を抱えた中での生活は続きますが、明けぬ夜はないという思いで、今年も感染症対策を徹底しながら利用者と一緒に楽しい企画を考えていきます。保護者の皆様にも感染拡大防止にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、福岡ひまわりの里の大きな課題である、建物の老朽化や自然災害時の避難問題、今後の利用者の高齢化に向けたこれまでとは異なる配慮や支援の必要性等については、ハード面ソフト面両方から課題の解決に向けて取り組んでいるところです。ハード面では障害者総合支援法の理念である「地域社会における共生の実現」に向けて今後の方向性が示せるよう取り組んでいます。また、高齢化に伴う変化を把握し、それに合わせた利用者支援が行えるよう施設体制の整備が必要です。それにあわせて今後の高齢化に向けた支援について研修を行っていき、介護技術の向上を目指していきます。あわせて、利用者や保護者の方が気軽に相談でき、信頼される施設を目指して職員一丸で取り組んで参りますので、どうかよろしく願います。

末筆ながら、皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

施設長 石井 美紀



バーベキュー

九月二十四日（木）にバーベキューを実施しました。今年度は、コロナウイルスの影響によりお肉や野菜を焼くときに、人が密集するバーベキューとしての実施は難しいのではという話になり、いつもとは違った形でも利用者に喜んでもらえる企画を考えました。今回は、バーベキューでお肉を食べる代わりにステーキを提供することになりました。

提供時はカットや刻み食など、それぞれが食べやすい形で食べられるよう配慮しました。ステーキ肉は能古島で肉の卸売をしている業者に依頼しました。また、お肉の他におにぎりや付け合わせ、ジュースの他に、デザートとしてアイスクリームも準備しました。

ステーキは原価もカロリーも高く、なかなか給食で食べる機会がなかったのですが、今回はウオクニ調理により、中までしっかり火が入った状態で提供されました。お肉はとてもやわらかく、食べごたえがありました。利用者の皆さんはごちそうのステーキに大変喜んでいました。感染症拡大により普段とは違う生活を過ごさざるを得ない中で、皆さんにとっては大変良い一日となりました。なおステーキ肉やアイス購入の際は、保護者会よりご協力頂きました。ありがとうございました。

今福 健喜



忘年会

十二月九日（水）に忘年会を実施しました。今年度はコロナウイルスの影響により、いつものステージイベント等は中止となりましたが、男性、女性に分けてのカラオケ大会を実施させて頂きました。

今回は採点プレートも用意し、利用者が見事な歌声を披露された後は、みんなで採点をさせてもらいました。皆さん中々の辛口採点でした！

昼食は毎年恒例の豪華なメニューで、事前にお聞きしていたリクエストメニューが並びました。焼きそば、唐揚げ、ホットドック等々とても美味しい昼食に舌鼓を打ちました。午後は皆さんお楽しみブレイクタイム。美味しいケーキやジュースを食べながら記念品贈呈を行いました。今年もひまわりパーク六本松に製作を依頼しました。利用者に描いてもらったイラストを使用した素敵なデザインで今回はなんと半袖Tシャツだけでなく、長袖Tシャツ、トートバックと三種類の中からお好みのものを選べるようにさせて頂きました。とても嬉しそうに受け取って頂けました。

今年はコロナウイルスの影響で、行事に限らず日常生活においても様々な我慢を強いられる一年となりましたが、皆さんにとつて年末最後の良い締め括りとなったようでした。

なお、記念品やケーキの購入の際は、保護者会よりご協力頂きました。ありがとうございました。

北村 久美子





十一月十一日(水)に館内レクリエーションを行いました。毎年利用者が楽しみにしていた一大イベントの一つでもある「一泊旅行・日帰り旅行」が新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、中止となりました。

当日は、少しでも旅行気分を感じてもらえるようレクリエーションを行い、「ボウリング・カラオケ」を行いました。利用者からは「今年はコロナウイルスが流行っているから仕方ないね。」と話し、毎年の旅行を楽しみにしていた分、落ち込みの声もありました。しかし、ボウリングやカラオケで盛り上がり、楽しそうに参加されていたように感じました。レクリエーション終了後には「久々に歌った。体を動かすのは健康的でいいね。」などの感想が聞かれ、つかの間の余暇を楽しまれました。

また、昼食時は普段とは異なり、利用者代表会議を開き、食べたい物をアンケートし、その中から、希望に合うようお弁当を選び、外部からお弁当を注文しました。旅行気分を少しでも感じていただけるよう、普段とは異なる昼食にし、皆さん喜んでいました。午後は、ジュースとお菓子の販売を行いました。食後、おやつがあることで利用者からは「お弁当が豪華だったのに、おやつもあるの？」と嬉しそうに尋ねる方もいました。それぞれが食べたい物を選び、他の利用者と仲良く、食後のおやつを楽しみました。

来年は、新型コロナウイルスも収まり、楽しく旅行が実施出来る事を願っております。

後藤 陸

一泊旅行・日帰り旅行



着任者紹介

● 梅津 裕 (支援員)
うめづ ゆう



初めまして。今年の一月に支援員として着任しました、梅津裕です。福祉施設で働くのは初めてではありませんが、障がい者施設で働くのは初めてです。
まだまだ不安だらけですが、お役に立てるよう必死に頑張りますのでよろしくお願い致します。

● 日野 朋子 (支援員)
ひの ともこ



十二月から福岡ひまわりの里に異動となりました日野朋子と申します。
十一月までは、ひまわり園で支援員として六年ほど勤務していました。通所施設から入所施設への異動でわからないことだらけですが、早く福岡ひまわりの里での生活に慣れ、皆さんとたくさんコミュニケーションを取っていききたいと思っています。
船に乗ることが何十年ぶりで毎日、ドキドキしています。これからのいろいろとご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願い致します。

● 松本 華愛 (看護師)
まつもと かあい



十一月から看護師として勤務させて頂いてます、松本華愛です。
不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けすることもあります。教えて頂いたことはしっかり吸収し、早く仕事に慣れるよう頑張っていきたいと思えます。
また利用者様ともしっかりコミュニケーションをとらせてもらい、看護師としての責務を果たせるよう、また安心して頂ける人として認識して頂けるよう、努めていきたいと思えます。よろしくお願致します。

退職・着任者紹介

● 着任

梅津 裕 (支援員)
松本 華愛 (看護師)

● 異動

日野 朋子 (支援員)

● 寄付・寄贈

田中 春子様
西日本洗管サービス様
※福岡ひまわりの里の保護者の皆様には色々とお差し入れを頂いております。ありがとうございます。

● 行事予定 ●

- 1月 20日(水)：クラブ活動
- 2月 17日(水)：クラブ活動
19日(金)：還暦・喜寿慶祝の式典
- 3月 17日(水)：クラブ活動

※ 1月 24日(日) 面会日

ふくふくフェスティバル

- 2月 22日(土) 都市圏ボウリング大会
28日(日) 保護者会
- 3月 3日(水) バスハイク
28日(日) 面会日

については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となりました。

● 苦情件数

0件

(令和2年10月～令和2年12月)

